

請 願 文 書 表

<p>請願第4号 国民健康保険税の負担軽減を求める請願 (令和6年2月15日受理)</p>	<p>厚生委員会付託</p>
<p>請 願 者 八王子市追分町6-14 フォーラムはちおうじ内 八王子社会保障推進協議会 会長 上原 弘夫 事務局長 横山 敏郎 外1,164名</p>	
<p>紹介議員 市川 克宏 石井 宏和</p>	
<p>請願趣旨</p> <p>新型コロナが5類に移行後、国民の目からは感染状況が見えにくくなり、コロナ前の状態に戻ったような雰囲気もありますが、経済はそのような状況になっていません。食料品を始め、電気代、ガス代、ガソリン・灯油代などの物価高騰で国民生活はますます厳しい状況となっています。国民健康保険は年金生活者や自営業者・フリーランスなど、比較的低所得の人たちが加入している保険ですが、国民健康保険料（税）の負担が加入世帯の生活を苦しめています。日本の皆保険制度の根幹をなす国民健康保険の保険料（税）が、国民を苦しめている状況です。</p> <p>その根本原因は、国が国民健康保険財政健全化計画と称して、各自治体に国民健康保険会計への一般会計からの法定外繰入金をなくすよう指示していることです。しかし、こうした国による国民健康保険財政健全化計画の押し付けにもかかわらず、多くの自治体が住民の厳しい生活状況を考慮して、一般会計からの法定外繰入れを続け、値上げ見送りや値上げ幅の抑制努力をしています。しかし、八王子市は31億の一般会計繰入額を解消するために、2018（平成30）年度から6年間で22億6千万円の繰入れを削減しました。その結果、国民健康保険料（税）は6年連続値上げされ、繰入金削減前と比べて4割も値上がりしたことになります。</p> <p>八王子市は2023（令和5）年度の保険料（税）改定では、激変緩和ということで繰入金の残り12億7千万円をすべて解消せずに3億9千万円に止めました。しかし、残り約9億円の法定外繰入れを解消するためにさらに保険料（税）の値上げを行う可能性があります。少なくとも、今年度は被保険者の保険料（税）負担を考慮して法定外繰入れの削減計画を圧縮したのですから、2024（令和6）年度は値上げをすべきではありません。</p> <p>このまま国民健康保険料（税）の負担が増えれば、今でさえ健康に不安があっても受診をためらう人が増えているのに、さらにそれを加速するようなことになり、国民皆保険制度の意味がなくなってしまいます。</p> <p>そこで、以下についてお願いいたします。</p> <p>請願事項</p> <p>1. 2024（令和6）年度の国民健康保険税の値上げは行わないでください。</p>	

2. 国民健康保険料（税）の負担を軽減するために、東京都や国に対して財政支援を求めてください。
3. 国民健康保険に加入している子どもの「均等割」は、子育て世代の家計を圧迫しています。国が未就学児の「均等割」半額化を実現しましたが、子育て支援の観点からも八王子市独自の更なる負担軽減策を講じてください。